

令和7年度 幼保連携型認定こども園自己評価

園名 吹田市立やまだこども園

認定こども園法第23条において、幼保連携型認定こども園における教育及び保育並びに子育て支援事業の状況、その他の運営の状況について評価を行い、その結果に基づき幼保連携型認定こども園の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。このことに基づき、公立幼保連携型認定こども園では毎年自己評価を実施しております。評価の結果を踏まえ、よりよい教育・保育に向けた、改善や充実に取り組んでまいります。

園目標

- ・こころもからだも健康な子供
- ・意欲的に遊ぶ子供
- ・自分も友達も大切にすること
- ・自然に親しみ、命を大切にすること
- ・豊かな感性をもち、自分の思いを表現できる子供

評価結果の表示方法

- A・・・十分達成されている。 B・・・達成されている。 C・・・取り組まれているが、成果が十分でない
D・・・取り組みが不十分である。

自己評価項目	ABCD 評価	評価内容
保育理念	A	地域や園の特色を考慮した全体的な計画、指導計画を立て、子供の主体性を尊重し教育・保育を行った。
こどもの発達援助	A	一人ひとりの興味・関心に寄り添い、必要な環境構成を行い柔軟に対応した。
保護者との連携	A	丁寧な対応を心がけ、育ちの連続性やねらい、子供の姿を伝え連携に努めた。
地域との連携	A	小中学校と、交流する機会をもちスムーズな接続を図っている。また、園児との交流する機会を設け、子育て支援を行った。
運営・管理、社会的責任	A	常に情報共有を図り、公的施設の役割を意識し、子供一人ひとりの成長を見守り適切な援助を心がけた。
職員の資質向上	B	幼児教育アドバイザーを中心とした園内研修を実施し、自身の振り返りを大切に資質向上につとめた。
安心・安全	A	新園施設の危険箇所を常時確認し、速やかに改善していくように対応した。

今年度の評価

安心・安全な保育	・新園舎で子供達が安心・安全に過ごせるよう環境整備に努めた。 ・あらゆる災害を想定した避難方法について確認し、迅速に対応できるように情報共有を行った。
身体づくり	・生活や遊びを通して、丈夫で柔軟な身体を作り、人と関わる力や考える力につながるよう、一人ひとりに合った取組を意識して計画・実施した。

来年度の目標

安心・安全な教育保育
身体づくり